

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)  
都市計画に係る住民説明会の主な意見と回答  
【稲美町】

日時	会場	参加人数
令和5年11月23日(木) 14:00～15:35	天満南小学校 体育館	168名
令和5年11月26日(日) 14:00～15:45	いきがい創造センター 多目的ホール	77名

【特記事項】

- ※1 播磨臨海地域道路に直接関係がないと思われる意見及び資料の問い合わせ等に関する内容は割愛しています。
- ※2 同様の主旨の意見はまとめています。
- ※3 ジャンクションやインターチェンジの名称は全て仮称です。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
意見の趣旨	人口も自動車利用者等も減少する中で本道路を整備する必要があるのか。	<p>本道路の必要性については、人口減少も踏まえて検討しています。兵庫県の人口は2015年時点の553万人に対し、2050年時点で423万人と約76%に減少すると予測されています。交通量は人口のみに比例しませんが、仮に人口と同様に交通量が減少した場合でも、国道2号バイパスの交通容量は不足しており、本道路の必要性は変わらないと考えています。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラックや人口は将来減少するにもかかわらず本道路により天満南校区の環境は滅茶苦茶になる。</li> <li>・交通事故削減のためになぜ我々が我慢しないといけないのか。</li> <li>・コロナの影響もあり、交通量は減っているのではないか。</li> </ul>	
主な意見	稲美ICは必要なのか。播磨臨海地域道路は稲美町にメリットがない。町としての意見はどうなのか。	<p>インターチェンジは、臨港地域とのアクセス向上のため主要な南北道路に接続する計画としています。稲美町のメリットは、現在、混雑している宗佐土山線や加古川バイパス、第二神明道路を利用せずに稲美ICから播磨臨海地域道路を利用し東西方向へ移動できることなどと考えています。また、本道路の整備により地域の物流や地域経済の発展等に寄与すると考えています。</p>
主な意見	4つのルート帯それぞれの事業費は。	<p>計画段階評価では内陸・加古川ルートが約6,000億円と試算されており、最も安価です。</p>

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
意見の趣旨	4つのルート帯からどのように内陸・加古川ルートを選定したのか。	<p>計画段階評価では4つのルート帯が比較検討されています。加古川ルートは明石西JCTから加古川JCT間のルートが第二神明道路のバイパスとなり、明石西IC周辺の渋滞や宗佐土山線等の一般道の渋滞の緩和に寄与し、市街地を通過する明石ルートより事業費も低減できることから選定されています。また、4つのルート帯のうち、「製造業の活性化、投資促進」「観光周遊の促進」「交通事故の削減」「災害に強いまちづくり」の4つの政策目標の達成について、最も効果が期待できるのが内陸・加古川ルートです。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町が反対したからこのルートになっているのではないか。</li> <li>・他市町の反対により内陸ルートに変わったと聞いている。</li> <li>・明石ルートの方がよいと思う。</li> </ul>	
意見の趣旨	計画段階評価ではどのように住民意見を聴取したのか。	<p>平成29年度と令和元年度にアンケート、ヒアリング、オープンハウスを実施し、「政策目標の妥当性」、「ルート帯を検討するにあたり重視すべき事項」などについて、意見聴取されています。アンケートの対象者は、国道2号周辺地域の住民を無作為抽出する方法等により選ばれています。また、オープンハウスはショッピングモール等にコーナーを設けて実施されています。</p> <p>なお、アンケート等の結果については、国土交通省のホームページで公表されています。</p> <p>○平成29年度結果  <a href="https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/torikuni/road/project/harimarinakai/pdf/em22_siryoi.pdf">https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/torikuni/road/project/harimarinakai/pdf/em22_siryoi.pdf</a></p> <p>○令和元年度結果  <a href="https://www.kkr.mlit.go.jp/road/other/social_capital/ok0bp1000006amp-att/shiryoi.pdf">https://www.kkr.mlit.go.jp/road/other/social_capital/ok0bp1000006amp-att/shiryoi.pdf</a></p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート検討にあたって、住民の意見は反映されているのか。</li> <li>・アンケートは全員を対象としたものなのか。</li> </ul>	

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
意見の趣旨	ルート・構造は決定しているのか。変更は可能か。	<p>今回の説明会で提示させていただいた計画は素案であり、決定していません。ただし、現在の案は県と沿線市町が「できるだけ地域への影響が少ないルートになっているか」という観点で確認し、道路としての安全性を確保した上で、地域への影響が少ない計画となっていると判断しており、現案が最適であると考えています。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稲美町全体の発展を考え、稲美町役場の北側を通るルートの方がよいのではないか。</li> <li>・ IC 位置を変更できるなら、天満大池(河原山池)に設置できないか。</li> </ul>	
主な意見	六分一集落内の宗佐土山線では事故が多発している。現計画のIC位置では、宗佐土山線の交通量が増え、信号が無ければさらに事故が増える。通行する人に対して危険な道路は不要である。	宗佐土山線とICの接続形状等についてはアクセス道路等の説明会で説明します。信号設置については、事業実施段階で公安委員会と協議することになります。
主な意見	JRの高架化が計画されているが、播磨臨海地域道路はどのような構造になるのか。	JR高架化計画よりも更に高い位置に播磨臨海地域道路が通る計画としています。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	大池団地と第五昭和苑付近(住宅密集地)の道路幅が広いのはなぜか。	住宅密集地のため、道路ができることによる環境への影響の軽減を目的とした環境施設帯を道路の両側に計画しています。一般的には植樹帯や側道・歩道等を整備します。これらは、事業実施段階で検討します。
主 な 意 見	都市計画決定時期は。	現時点でスケジュールは未定です。令和6年度にアクセス道路等の説明会を予定しており、その後、環境影響評価の説明会を行います。
意 見 の 趣 旨	詳細な図面等の資料は提供いただけないのか。	アクセス道路等の説明会で詳細な図面を提示します。
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の図が見えにくいので、拡大図はもらえないか。</li> <li>・図が小さ過ぎて、稲美IC 付近の詳細がよくわからない。</li> </ul>	

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	市街化調整区域に住んでいるが、今道路ができることにより用途地域の変更があり税金が市街地並みになるのか。	現在、用途地域の変更の検討まで至っておりません。事業着手した段階、供用時期が明らかとなった段階、供用した段階等、今後道路整備の状況に合わせ段階的に検討していくことになります。
主 な 意 見	天満大池バイパスの完成を考慮して稲美ICの検討をしているか。	天満大池バイパス完成後の交通量を考慮しています。
主 な 意 見	稲美ICが県道宗佐土山線に接続した場合の交通の影響を詳しく教えてほしい。	次回の説明会で、アクセス道路等の説明を行う予定です。
主 な 意 見	本道路は有料道路か。	有料道路か無料道路かは未定です。有料道路となっても問題が無い構造で計画しています。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
意見の趣旨	環境への影響について説明していただきたい。	環境への影響については、環境影響評価手続の中で調査・予測・評価を行います。今後、説明会を開催し、調査・予測・評価の結果と影響が生じる場合の環境保全措置(遮音壁・貴重種の移植等)について説明させていただきます。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音対策をどのように考えているのか。</li> <li>・遮音壁の一部区間を透明にする等の工夫は検討しているのか。</li> </ul>	
主な意見	日照に対する補償の可否を教えてください。	日照に関する補償は事業実施段階に協議させていただきます。一般的には、補償基準により、個別に補償することになります。
主な意見	全体事業費はどの程度か。	現時点で全体事業費は未定です。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
意見の趣旨	事業のスケジュールは。	事業のスケジュールは未定です。都市計画決定後に事業化し、測量、調査、設計、用地買収というステップを踏んで工事となります。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の着手時期はいつ頃か。</li> <li>・用地買収される時期はいつ頃か。</li> <li>・事業の完成時期はいつ頃か。</li> </ul>	
主な意見	暫定2車線での供用になるのか。	現時点では暫定供用となるかは、未定です。
主な意見	B/C(費用対効果)はどうなっているか。	現時点でB/C は算出していません。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
意見の趣旨	用地買収が必要となる区域はどの範囲か。	<p>道路の区域は、基本的には用地買収させていただきます。配布資料の赤着色範囲は本線、JCT・ICに必要な区域で、アクセス道路等の説明会ではアクセス道路等に必要な区域について説明させていただきます。また、都市計画決定しない管理用の側道や機能回復道路、工事中道路等については、事業実施段階で検討します。</p> <p>なお、赤着色範囲には環境施設帯も含まれており、買収の対象となります。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面の赤着色部は全て立ち退きか。</li> <li>・ 環境施設帯も買収するのか。</li> </ul>	
主な意見	稲美IC で閉じられている区域はどうなるのか。	<p>事前周知資料の図面の未着色部は、事業実施段階で協議することになります。</p>
主な意見	将来、側道の設置や法面の影響により、道路の区域に含まれる可能性があるのか。	<p>今回は都市計画決定する段階での設計に基づき本線・JCT・ICの区域を示しています。側道や機能復旧道路、法面等は事業実施段階で検討するので、含まれる可能性もあります。</p>

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	海岸沿いに橋脚を設置する計画で南海トラフ等災害に強いまちづくりというの理解できない。	国道2号バイパスと併せ、自動車専用道路のダブルネットワークとして災害時のリダンダンシーを発揮すると考えています。
主 な 意 見	(都)本荘加古線が今回のルートに変更されるのか。	播磨臨海地域道路と(都)本荘加古線は別の路線であり、(都)本荘加古線の変更はありません。
主 な 意 見	既存の橋梁等が撤去され、第二神明道路の南北横断が不便にならないのか。	本道路の影響で機能が寸断される道路等は、一般的には事業実施段階で機能を復旧し、交通機能を確保します。